

明誠高等学校 I A C ・ 益田 R C 打合せ（第 2 回）

● 日 時 : 令和 6 年 6 月 1 2 日（水） 1 6 時 3 0 分頃～（I A C 例会終了後）

● 場 所 : 明誠高等学校

● 出席者 : （明誠高等学校）

（益田 R C）

● 議 事 :

1. これまでの進捗報告と確認

インターアクト地区協議会

（1） 日程 : 令和 7 年 4 月 2 6 日（土）

（2） 会場 : 【全体会】 益田市立市民学習センター（予定）

①当初は利用申請を断られる。

②センター長へ特例利用の申請書を提出（返事待ち）：別紙

【懇親会】 （未定）

（3） その他： ガバナーエレクト事務所には、会場決定にもう少し時間くださいと連絡済み

インターアクト地区大会

（1） 日程 : 令和 7 年 7 月 2 6 日（土）～2 7 日（日）

（2） 会場 : グラントワ

施設利用の仮押さえ申請済み : 別紙

（3） 内容 : ①講演会

講師：藤山浩氏 → 依頼済み、承諾済み

（一社）持続可能な地域社会総合研究所 所長

②石見美術館 企画展見学

本来は企画展の有無及び内容は年度末まで教えられない、とのこと。

関係者に交渉の結果、当日は企画展開催中であること、内容も確認済み。

③映画「高津川」鑑賞

マネジメント会社へ連絡済み。費用確認済み。

④宿泊先

三好家（約80名）と多田温泉（30～40名）には予約済み

・料金：6,600円（税込み）

ロータリアンの宿泊ホテルは未予約

2. 予算計画について

未定

3. 推進体制について

未定

4. 今年度の地区大会参加について

5. 今後の進め方等

6. その他

令和6年6月4日

益田市立市民学習センター
センター長 岡崎健次 様

市民学習センター特例受付申請書

申請者	住所	〒698-0003 益田市乙吉町イ 336-4 インペリアルビル 1階 サウンド・パレット内 (電話) 080-2923-1616 (FAX) 0856-23-7379
	団体名	益田ロータリークラブ
	代表者氏名	会長 田原裕司
事務担当者	住所	〒698-0202 益田市美都町宇津川口 630-3 (株式会社エイト)
	氏名	青木正美
	連絡先	0856-52-2212 (携帯: 090-4140-7164)
申請の内容		使用申込受付期間前における利用申請受付のお願い
使用希望施設		・多目的ホール (全体会用) ・研修室 202 (分科会用) ・研修室 203 (分科会用) ・他会議室 1 室 (事務局控室用: 場所は相談のうえ決定)
事業の名称		2024-2025 年度国際ロータリー第 2690 地区 インターアクト地区協議会 (主催) 国際ロータリー第 2690 地区 インターアクト委員会 (主管) 益田ロータリークラブ
開催期日		令和 7 年 4 月 26 日 (土)
参加対象者		地区 (鳥取・岡山・島根) 内 ・インターアクトクラブ顧問教師 ・提唱ロータリークラブ委員長 ・地区インターアクト委員及び来賓
参加人数		約 70 名
料金等の有無		無
添付書類		・前回の開催要領 (注) 次年度の懇親会は別会場へ移動して行う予定です。

令和5年12月21日

公益財団法人しまね文化振興財団 理事長 様

申込者名 益田ロータリークラブ
会長 田原裕司

いわみ芸術劇場施設利用について

下記のことにつきまして、令和7年7月26日（土）～令和7年7月27日（日）の施設予約をお願いいたします。

記

1. 催し物の名称 国際ロータリー第2690地区 第48回インターアクト地区大会
2. 主催 国際ロータリー第2690地区インターアクト委員会
3. 主管
ホストRC : 益田ロータリークラブ
(インターアクト小委員長: 青木正美)
ホストIAC: 明誠高等学校インターアクトクラブ
(顧問教師: 虫谷麻理)
4. 利用期間 令和7年7月26日（土）～令和7年7月27日（日）
※利用時間: 別紙参照
5. 利用する施設 小ホール、スタジオ1、スタジオ2、多目的ギャラリー、中庭広場
中楽屋1、中楽屋2、小楽屋1、小楽屋2
6. 会場責任者 島根県益田市美都町宇津川口 630-3
株式会社エイト 青木正美
TEL 0856-52-2212 FAX 0856-52-2227 携帯 090-4140-7164
メールアドレス aoki@sizennomori.co.jp

以上

(別紙)

利用希望時間 (予定)

施 設	7月25日 (金)	7月26日 (土)	7月27日 (日)
小ホール	18時～22時	9時～22時	9時～17時
スタジオ1		9時～22時	9時～17時
スタジオ2		9時～22時	9時～17時
多目的ギャラリー		9時～22時	9時～17時
中庭広場		9時～22時	9時～17時
中楽屋1		9時～22時	9時～17時
中楽屋2		9時～22時	9時～17時
小楽屋1		9時～22時	9時～17時
小楽屋2		9時～22時	9時～17時

参加者予定人数

インターアクトクラブ (高校生)	約80名	
同上顧問教師	約30名	
ロータリークラブ会員	約40名	合計：約150名程度

プログラムの概要 (案：詳細未定)

開会行事
表彰式
記念講演
石見美術館鑑賞 (企画展の有無は未確認)
映画「高津川」鑑賞 (未定)
班別会議、活動報告
閉会行事

前年度プログラム

(別紙参照ください)

2023年12月21日

株式会社エイト
青木様

FAX:0856-52-2227

島根県立いわみ芸術劇場 仮押え確認書

平素より大変お世話になりありがとうございます。

島根県芸術文化センター管理規程第4条(条例第14条)2項(1)-①により、通常予約開始日(12か月前の1日)より前の2023年 12月 21日に下記の内容で仮押さえいたしました。

内容にお間違いがないかご確認いただき、下記ご署名後返信をお願いいたします。

(年度ごとにご担当者様が代わられる場合は、引き継ぎをお願いいたします。)

催し物名:国際ロータリー第2690地区 第48回インターアクト地区大会

利用日	会場/時間区分/使用内容
令和7年(2025年) 7月25日(金)	小ホール/18:00~22:00
令和7年(2025年) 7月26日(土)	小ホール・小ホール楽屋・スタジオ1・スタジオ2・多目的ギャラリー・中庭広場/ 9:00~22:00
令和7年(2025年) 7月27日(日)	小ホール・小ホール楽屋・スタジオ1・スタジオ2・多目的ギャラリー・中庭広場/ 9:00~17:00

内容にお間違いがないかご確認いただき、右欄にご記入の上、グラントワ(FAX0856-31-1884)まで送信ください。

所属名 (団体名)	益田ロータリークラブ
ご署名 (申込ご担当者)	青木正美

〇提出書類について

①施設利用申込書:

ご利用の内容(時間、参加費等)が確定された後、遅くとも本番3か月前にはご提出ください。

なお、使用される設備などについては後日打合せをお願いいたします。

②(ホール利用の場合)防災計画許可申請書

様式はグラントワホームページ「各種申請書」よりダウンロードいただけます。

公益財団法人しまね文化振興財団
いわみ芸術劇場
〒698-0022 島根県益田市有明町5-15
TEL:0856-31-1860 FAX:0856-31-1884
総務広報課総務G (村上) 様

企画履の情報は

令和7年の3月頃に公開される予定

(前年度の末頃に公開が原則)とされています

R6.1/26 Tel:12



一般社団法人

持続可能な地域社会総合研究所

Sustainable Community Research Institute

ホーム

事業内容

ニュース

実績

所長挨拶

お問い合わせ

Menu

ホーム

事業内容

ニュース

実績

所長挨拶 & プロフ

ィール

お問い合わせ



研究所紹介ページはこ
[ちら](#)

一般社団法人

持続可能な地域社

会総合研究所

〒699-3671

島根県益田市津田町

1401

TEL : 0856-55-1011

所長直通携帯 : 080-

5526-9818

Mail:master@susarea.jp

営業時間 : 9:00~

所長挨拶 & プロフィール

今、ここに住み、思うこと

この半世紀の間に形成された新たな地域社会である団地やマンションを見ていると、歴史始まって以来初めて、そこに暮らす人々の間でお互いの生きていく営みの記

憶が共有されていかない地域社会が形成されつつあるような危惧を覚えます。誰かが死んだとしても、その人ががんばって生きた記憶が伝わっていかないとすれば、それはとても悲しい社会です。

私は、今住んでいる中山間地域の集落で恐らく死ぬでしょう。そうした意識で集落を見渡すと、田んぼにしても水路や橋にしても木々にしても、今はもう亡くなられた方々の長年の営みにより、今の風景に彫琢されてきたことを感じます。お葬式に参列し、お話を聞くと、自分一代だけの損得ではなく高い志を持ってよい仕事を後世に残された方々の生き様に頭が下がります。そのような記憶を少しずつ共有し伝承する中で、自分たちも少しはがんばってみようとする健気さが一人一人の心に宿るのではないのでしょうか。

私たちは、皆、いずれ死んでいく存在です。しかし、だからこそ、美しい営みを次の世代へと伝えていく末長い輪の中に身を置きたいと思います。その場限りの「使い捨て」を続ける人や地域は、過去の尊い営みを消し去るだけでなく、未来に足跡を遺すこともできないでしょう。田園回帰によって都市と中山間地域のバランスを回復させる中で、私たちは、そこに生きる人々の記憶が紡がれる「地元」を取り戻していくべきだと考えます。「美しさ」と「時間」と「記憶」は、三位一体で「地元」の中でつながっていくのです。

私たちの研究の方法

私たちは、次のような3つの方法論で、地域社会の研究を進めていきたいと考えています。

①地域社会における綿密な診断

地域社会ごとに詳細なデータを集約・分析し、具体的な数字・エビデンスに



②地域社会同士をリンクした共進化〜マス・ローカリズムによる地域政策形成

多くの地域社会のデータ・事例を全国的に共有し、地域・自治体同士の「学び合い」・「磨き合い」を促進する「マス・ローカリズム」手法で「共進化」を実現します。そして、共通する促進要因・疎外要因を見出す中で、現場発の新たな地域政策形成を主導します。

③「多様性」・「多角性」・「多重性」に基づく持続可能な地域社会の設計・運営

持続可能な地域社会を分野横断した全体最適の視点から展望し、地域ごとの「多様性」・地域内の「多角性」・大小の循環圏をつなぐ「多重性」により、世代を超える長期的設計・運営を提示します。

持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山浩

所長プロフィール (2024年4月1日時点)

藤山 浩 (ふじやま こう)

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長

<経歴>

1959年 (昭和34年) 10月	島根県益田市生まれ
1978年	一橋大学 経済学部 入学
1982年	一橋大学 経済学部 卒業 広島県・県立高校社会科教諭、株式会社 中国・地域づくりセンター主任研究員、ニュージーランド留学、 広島大学大学院国際協力研究科等を経て
1998年	島根県中山間地域研究センター 地域研究課 研究員 着任
2004年	同センター地域研究グループ 科長
2009年	島根県立大学連携大学院教授 (10月より兼任)
2013年	島根県中山間地域研究センター 研究統括監
2017年	3月同センター退職 4月「一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所」設立、所長就任

2023年 4月「上越市創造行政研究所」所長就任（兼務）

現在、益田市に、日本一の清流・高津川の河畔の岩山に新居を構え、田園生活中。
冬は、29年間にわたり、100%薪ストーブで暖房。毎年6トンの薪割りが趣味。

<兼職>

北海学園大学客員教授（2019年度～）、総務省地域力創造アドバイザー（2019年度～）

<専門分野>

中山間地域政策、未来社会論、地域計画、地域分析（人口・経済）、地域づくり支援

<学位>

博士（マネジメント）2008年3月取得

広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻

博士論文「中山間地域における地域構造の転換と新たな地域マネジメントに関する研究」

<主な委員等＝2014年度以降>

内閣府

地方創生ゼロカーボン推進業務有識者会議（2022年度） 「地方創生における中山間地域ワーキング」有識者委員（2015年度～）

「地域の課題解決のための地域運営組織に関する有識者会議」委員（2015年度～）

「i-都市再生交通モジュール検討会」委員（2018年度～）

総務省

「『田園回帰』に関する調査研究会」委員（2016年度～）

「地域の暮らしサポート研究会」委員（2017年度～）

国土交通省 国土政策局

「集落地域における「小さな拠点」形成推進に関する検討会」委員（2012年度～）

「都市圏における将来シナリオ策定に係る有識者委員会」委員（2014年度～）

「国土審議会計画推進部会 住み続けられる国土専門委員会」委員（2016年度～）

「小さな拠点を核とした地域構造検討会」委員（2016年度～）

総合政策局

「地域を支える持続可能な物流システムのあり方に関する検討会」委員（2014年

度～)

農林水産省

「中山間地域等直接支払制度等に関する第三者委員会」委員（2010年度～）

「活力ある農山漁村づくり検討会」委員（2014年度～）

「人口減少社会に対応した農村整備研究会」委員（2014年度～）

農林水産政策研究所 機関評価委員（2017年度～）

厚生労働省

「地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会」委員（2016年度～）

環境省

持続可能な成長エンジン研究会 委員（2019年度～）

<主な著作、2015年以降>

「田園回帰1%戦略 - 地元に人と仕事を取り戻す -」

2015年、藤山 浩 著、農文協「シリーズ田園回帰」全集

「『循環型経済』をつくる」

2018年、藤山 浩 編著、農文協「図解でわかる田園回帰1%戦略」シリーズ第1巻

「『地域人口ビジョン』をつくる」

2018年、藤山 浩 編著、農文協「図解でわかる田園回帰1%戦略」シリーズ第2巻

「『小さな拠点』をつくる」

2019年、藤山 浩 編著、農文協「図解でわかる田園回帰1%戦略」シリーズ第3巻

「日本はどこで間違えたのか～コロナ禍で噴出した『一極集中』の積弊」

2020年、藤山 浩 著、河出書房新社

<200字プロフィール>

藤山 浩（ふじやま こう）

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長

1959年、島根県益田市生まれ。一橋大学経済学部卒業。博士（マネジメント）。島根県中山間地域研究センター等を経て2017年より現職。総務省地域力創造アドバイザー他、国・県委員多数。専門は、中山間地域政策、未来社会論、地域計画、地域分析（人口・経済）、地域づくり支援。著書に「田園回帰1%戦略」、「循環型経済をつくる」、「小さな拠点をつくる」、「日本はどこで間違えたのか」など